



30th

Porsche 356 Club

Japan



30th ANNIVERSARY MEMORIAL ISSUE



会長挨拶

ポルシェ356クラブ・ジャパンの 30周年を迎えて

2005年10月1日と2日に行われた、創立30周年記念イベントの興奮も冷めやらぬ気持ちの中でこの原稿を書いています。

今回のホリデイは2日間とも晴天に恵まれ、コースや会場、あるいは料理の設定なども含め、参加台数も過去最高と、言うことなしのイベントとなりました。なによりもここに到達するまでに、30周年ホリデイは1年近く前から準備され、多くの人達がボランティア精神で企画・運営にあたってきました。これは今、クラブが掲げている目標の1つで“会費さえ払っていただければ「お客様感覚」を無くそう”、そこで自らが参加し、自らが楽しむ精神を浸透させていこうということなのです。クラブメンバー全員が楽しむためには、自ら行動を起こす様にならないと健全なクラブ運営は望めません。事務局の運営にしても今はネコ・パブリッシングに頼っている状態です。今後は出来るだけ早い時期に、場所はそのまま借りるにしても人材はクラブで確保し、メンバーから集める費用も2年ごとのホリデイに出す冊子等の必要最低限の予算だけをプールし、それ以外はクラブ運営に当てる方向で検討しております。

今年、我が356クラブは30周年を迎えております。ポルシェ・ジャパンに調べて頂いたのですが、世界中にAG公認の356クラブは56あり、その内アメリカのレジストリーとスウェーデンが一番古く1974年の設立で、次がドイツの1975年、そして日本はオランダと同じ1976年です。つまり、世界中でも5つの国の356クラブしか30周年を迎えていないという、30周年とはそれ程すごいことなのです。これだけ歴史のあるクラブですから、メンバーの1人1人がヒストリックカーと世の中の関わりを大事にし、人生の楽しみ方のお手本となるべきクラブ活動への参加を目指して頂ければ、356クラブの将来は明るいものとなるに違いありません。

ポルシェ356クラブ・ジャパンが永遠に繁栄し続けることを願っております。

ポルシェ356クラブ・ジャパン
会長 井関 純夫